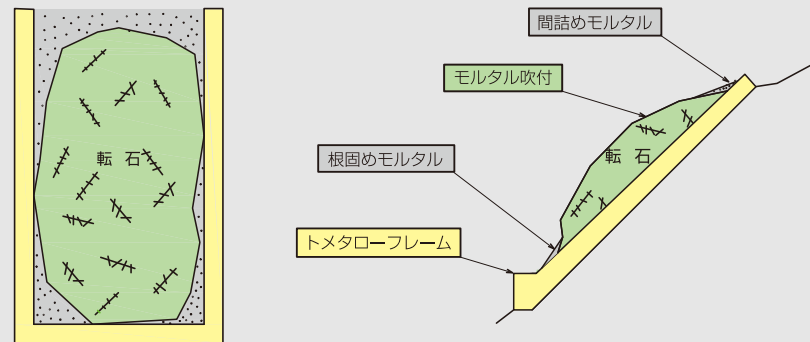


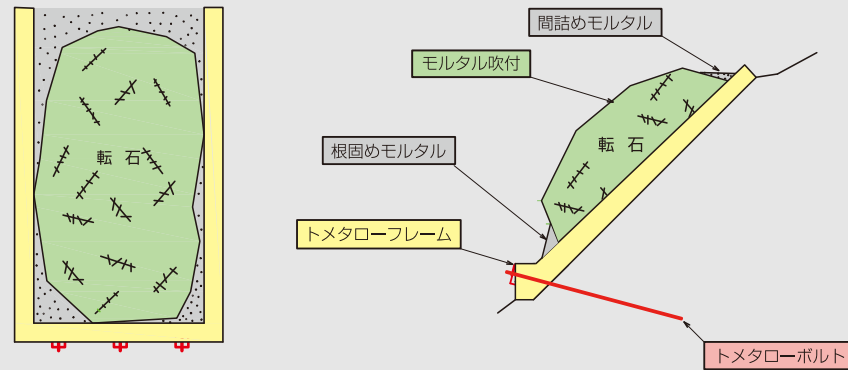
簡易型

トメタローフレームとモルタル吹付のみで構成される最も簡易なタイプ



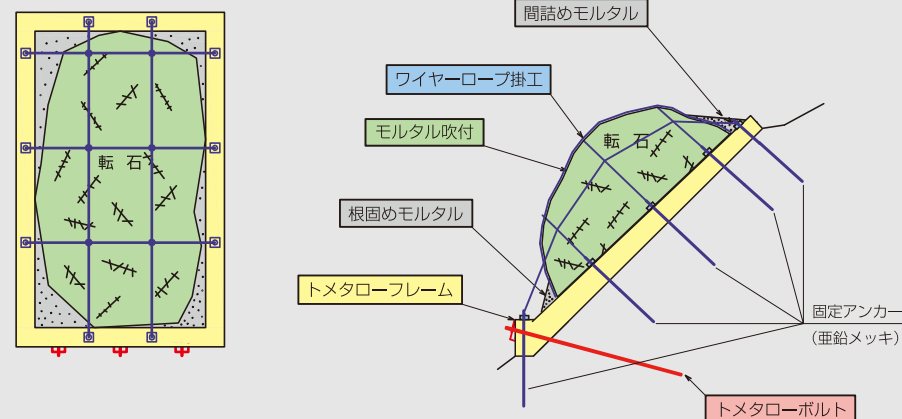
滑動防止型

簡易型にトメタローボルトを併用したタイプ



転倒防止型

滑動防止型にワイヤーロープ掛工を併用したタイプ



NETIS QS-170032-A

転石一体化根固め工法 落石トメタロー



落石トメタローは、崩落する可能性のある「不安定な石」を「安定した形状の石」に変える根固め工法です。

特長

◆ 落石発生源対策工を複合的に組み合わせた経済的な工法

転石の危険度に応じた設計計算が可能で、落石防護工に比べてコストを大幅に改善できます。

◆ 不安定な転石を基礎構造物と一体化させた根固め工法

転石一体化根固工により不安定な転石の重心位置が下がり、転倒しにくい構造にします。
また、根固めモルタルにより地山との付着面積を増加させ、滑動に抵抗します。

◆ 転石の状態に応じた様々な工法のバリエーション

根固め基礎を構築する「簡易型」をはじめ、ロックボルトを併用する「滑動防止型」、
転石にロープ掛工を併用する「転倒防止型」などのバリエーションがあります。

◆ 高所に存在する転石に対応可能

長距離・高揚程吹付工法の適用により、遠方や高所の施工箇所にも対応できます。

◆ 300トンクラス(5m×5m×5m)の巨岩転石に対処可能

斜面上の巨岩に対して、原位置で効率的に抑止できる安全・確実な工法です。



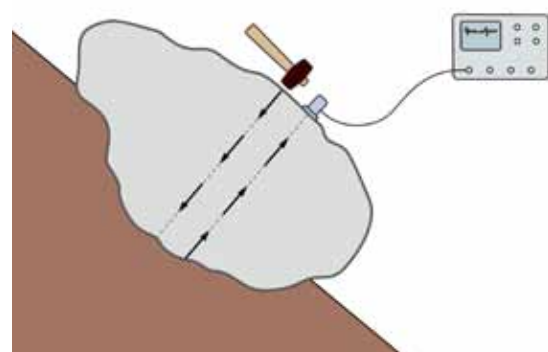
高エネルギー吸収柵で抑止できない300tクラスの巨岩に対する施工事例

◆ 転石の根入れ深さが不明な場合にも対応可能

非破壊調査システム「オーリス」による転石の根入れ深さ計測により、適確な対策工法を提案します。



オーリスによる転石根入れ深さ計測

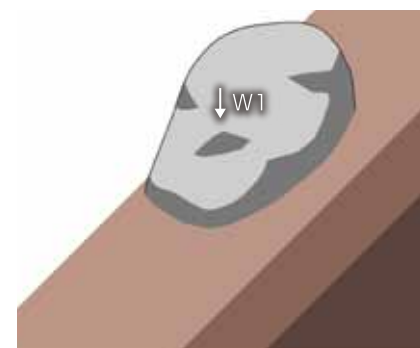


オーリス測定概念図

工法概要

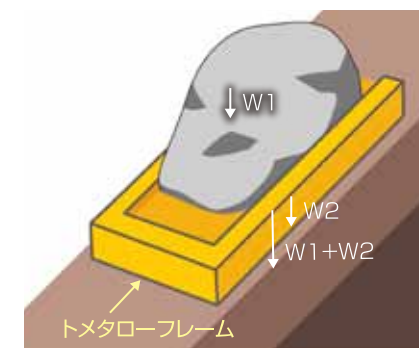
落石トメタローは、不安定な転石と強固な基礎を一体化して、転石の重心を下げて安定させる新しい発想の工法です。

重心位置の高い不安定な転石



施工前

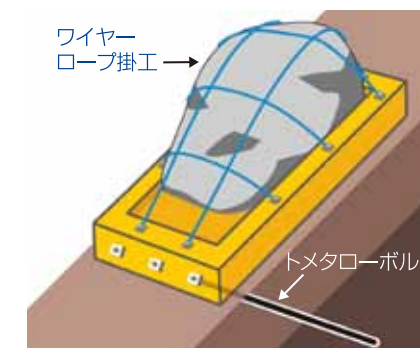
転石と一体化した強固な根固め工



「トメタローフレーム」
・重心位置の下方移動
・付着面積の増加

簡易型

滑動・転倒抵抗力を増加した基礎構造物

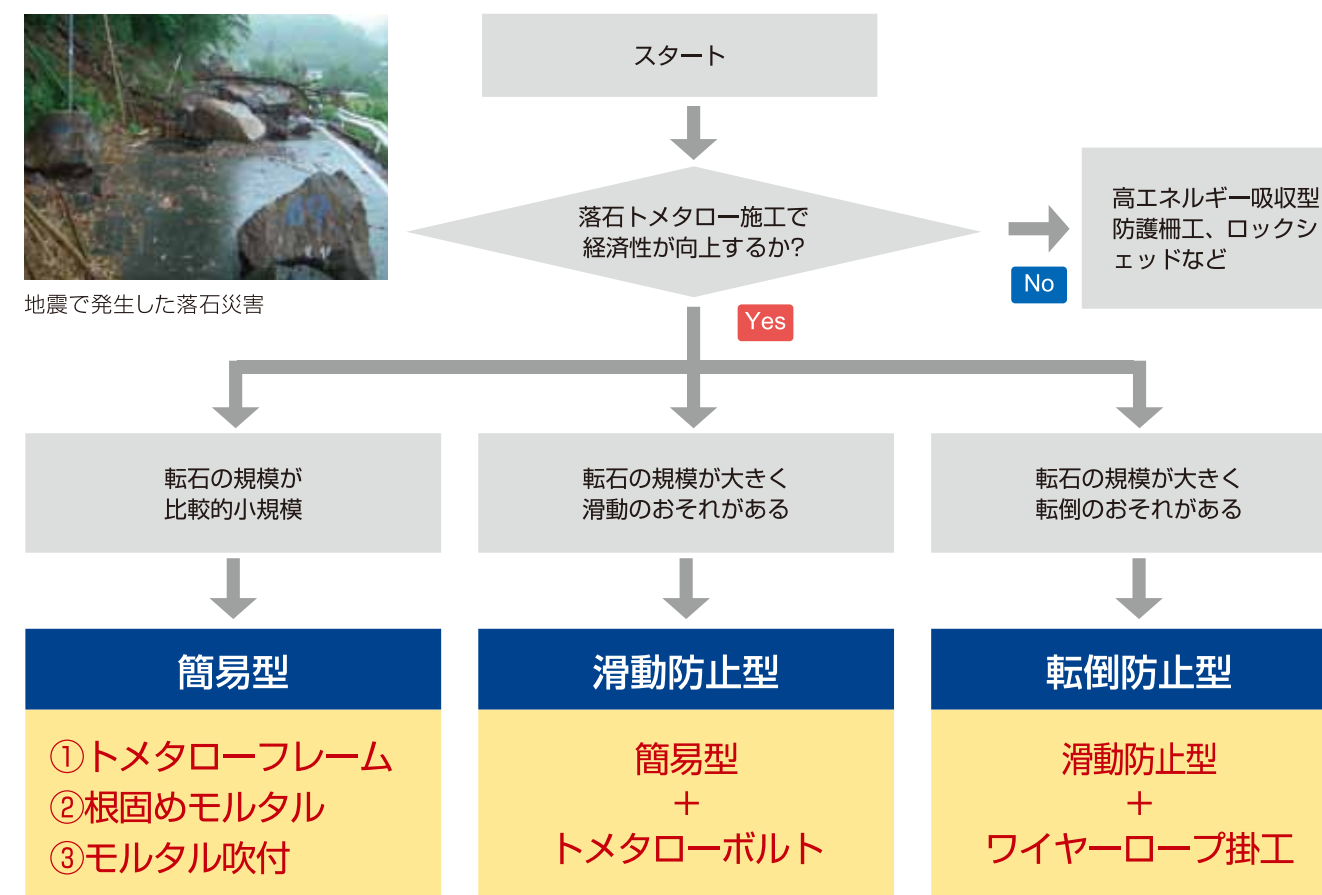


「トメタローボルト」
・滑動抵抗力の増加
「ワイヤーロープ掛工」
・転倒抵抗力の増加

滑動防止型

転倒防止型

選定フロー



※ 根固め工をより強固にするため、岩盤接着工「ニュージャストショット工法」の併用も可能です。

※ 転石の状態や風化度合に追加よって、モルタル吹付の仕様を決定します。

※ モルタル吹付は短繊維混入を標準とし、ラス張+モルタル吹付(キリファイバー2kg/m³)厚8cmや、ラス無しの場合には、モルタル吹付(クラテック10kg/m³)厚7cmの仕様があります。